

# 平成18年度予算の概要をお知らせします

## 一般会計

災害などに強い

「安心・安全の町」

子どもに優しい

「子育て支援の町」

を目指します

平成18年度富士見町一般会計予算は、地震防災対策や少子化、子育て支援を重点に、66億2千6百万円となりました。パノラマスキー場支援としての観光施設貸付事業特別会計への繰出しや、継続事業の町道改良工事の早期の完成を目指すほか、児童手当の支給年齢拡大など住民要望の高いもの、国の制度改正によるものなどを優先した実質型で、予算総額では前年比0.39%の増額となりました。

## 歳入

歳入のうち町税は、税の制度改正や製造業を中心とした景気回復により、個人町民税が前年比22%の増額となりました。しかし固定資産税は事業所における償却資産の減少と家屋の評価替えによる評価額の減少などにより前年比2億9百万円、11%の減額となりました。地方交付税は17億3千万円で3千万円の増額となりました。国は交付税減額の方針ですが、町は税の減

少の影響を加味し微増としました。国からの支出金の内補助金は、補助事業の減や補助金の見直し等の影響から大きく減少し、3千百万円余りとなりました。18年度に借り入れる町債は、43%減の2億5千3百60万円となりました。税の減収や国の補助金の減少を補うため、積立金である財政調整基金を4億4千万円取り崩しました。

